

助成事業実施報告書

団体名 「市民活動のひろば」発行委員会

代表者・役職名 氏名 代表 山家利子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

国際問題と対外関係を考えるための現状と活動を紹介する冊子の作成

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東京都が市民活動情報誌を2002年まで発行していたが、廃刊になったため、市民間の情報のネットワークを継続させるため、市民有志で発行を開始。毎月市民活動に関する特集を組み、3~6団体による活動紹介と月毎の多様な市民団体による催し情報を100件以上掲載している。B5判30ページ前後、年10回発行。毎月約500部を定期読者と多摩地域の公共施設で配布している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当「市民活動のひろば」に掲載した国際問題と対外関係についての記事をまとめて冊子を作成する。国際情勢は大きな変動期を迎えているが、新聞やテレビの情報は限られており、インターネットの情報は正確性に不安がある。専門誌や、外国語メディアから直接情報を得られる人は限られており、市民が考えていくための手掛かりとなる情報が必ずしも得られていない。本誌ではこの分野の市民団体の活動紹介や、多摩地域在住の国際関係研究者による連載コラムを掲載してきた。冊子にまとめ、学習資料としてより多くの方に情報を手渡す。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

「市民活動のひろば」に掲載した国際問題や対外関係をテーマとする記事を、連載コラム「国際問題と対外関係を考えるために」とアジアとの交流活動の特集を中心に、掲載時期順に、冊子にまとめる。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

世界の動きについてとくに新聞などに掲載されにくい情報を、400冊の読みやすい学習資料集として、わかりやすく伝えることにより、市民の国際問題についての関心を高め、また地域での活動を知ることにより活動への参加が身近なものになる。そのことにより、国際問題と対外関係に対する健全な世論形成に寄与できたと考える。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

本誌は2002年に創刊したので、国際関係の記事でも早い時期の掲載記事は、国際情勢の変化が激しいため、読者の参考になると思われる記事でもどの時期のものから載せるのが適当か苦慮した。またスペースに限りがある中、冊子全体が散漫にならないために、解説的文章と市民の活動報告とどちらを優先して載せるか判断に迷った。今後はこの冊子をきっかけに、国際問題や対外関係への関心を深めた市民有志による勉強会を発足させたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし